

化粧品、パーソナルケアおよびホームケア製品 包装デザインの段階で印字技術を 検討

技術的課題

包装のデザインはブランド認知の重要な要素であり、優れたデザインのパッケージは、人目を引く人気商品とありふれた商品との間に違いをもたらすことができます。包装のデザインには多大な作業が費やされますが、たいてい、印字のことは後回しになります。しかし、包装の印字がずれていたり、ゆがんでいたり、汚かったりすると、美しいデザインが台無しになることもあります。見た目の悪い印字は読みにくく、美しい包装に求められる「汚れない外観」が損なわれてしまいます。デザインの段階で印字技術を検討することにより、汚い印字のリスクを減らし、包装の質とブランドイメージを向上させることができます。

ビデオジェットの長所

ビデオジェットはお客様と連携し、自社のサンプルラボで包装の評価と試験を行ってからお客様のパッケージに最適な印字ソリューションを提案します。ビデオジェットには次のような最新印字技術が揃っています。

- 産業用インクジェットプリンタ (小文字用): ほとんどの素材に印字できる特殊インクによる非接触印字
- サーマルインクジェットプリンタ: インクベースでペーパーや浸透性素材に印字
- レーザーマーカー: さまざまな種類の包装に耐久性が高い印字
- 産業用サーマルプリンタ: サーマルリボンベースの技術で軟質フィルムに印字

低品質の印字では洗練された包装デザインが台無しです。 包装デザインに見合った印字品質を実現することが重要です。

化粧品、パーソナルケアおよびホームケア製品のブランドにとって、包装は重要なマーケティングツールであり、消費者にとってはすぐに分かる見慣れたデザインです。消費者は魅力的な包装を信頼し、商品の棚から好みの商品を見つけます。特に、魅力的なデザインの包装には伝わるイメージがあり、初めての購入者でも引き寄せることができます。そのため、化粧品、パーソナルケアおよびホームケア製品の企業は、多大な時間と費用をかけて包装コンセプトを具体化していきます。しかし、最終製品に多大な影響を与える可能性があるにもかかわらず、このプロセスで印字を考慮に入れることはほとんどありません。

ロット番号や消費期限の印字がずれていたり、ゆがんでいたり、美しくなかったりすると、きれいにデザインされた包装が安っぽく見え、消費者が離れるおそれさえあります。包装デザインの段階で印字内容と印字技術を検討することで、包装の最終的な外観をできるだけよくするだけでなく、ひどい印字で美しいデザインを損なうのを防ぐことができます。また、包装の製作に利用可能なさまざまな印字技術を理解することにより、製作プロセスに立ち向かうのではなく、生かすことができます。

包装デザインのプロセスを開始する際には、以下の点をご検討ください。

1. 包装の材質の種類

包装の印字面のタイプは、製品の形状、機能、用途によってほぼ決まります。包装に用いられている材質の種類は、印字品質と耐久性に直接的に影響します。印字結果の外観と耐久性は、適用された印字技術で決まるわけですが、対象面に最適な印字技術を決定する際の最も重要な要素は包装の材質です。たとえば、ある種のプラスチックでは、インクの固着性の悪さやコントラスト不足により、印字品質のトラブルが生じる可能性があります。

最良のコードを得るために、使いたい印字面上でさまざまな印字技術の性能を試してみてください。特殊な包装素材を製品に使用しなければならない場合は、特定の印字技術が性能を発揮できる特殊加工の印字領域の作成をご検討ください。たとえば、厚紙製の箱の場合、印字領域に限定して印字困難なコーティングやニス小さく一部除去して、インク印字の固着性を向上させる方法があります。通常、この印字領域は「ノックアウト」ボックスと呼ばれ、ラベルや凹凸の多い包装上などにも作成されます。類似の方法ですが、印字ウィンドウとして包装やラベルの一部の色を変えることで、多くのパッケージで印字の読みやすさを向上させることができます。

また、包装素材の色も印字品質に大きく影響します。たとえば、洗浄剤用に HDPE プラスチックを使用する必要があり、消費者が読みやすいように印字のコントラスト比を高めるには、明るい色のプラスチックの使用を検討します。もう 1 つの方法としては、加工業者の元で包装に特殊な添加剤を加えて、特定の印字技術の性能を確実に最適化するやり方もあります。たとえば、DataLase® は包装やラベルに添加できる製品ですが、これによりレーザービームで包装の表面に濃く鮮明な印字ができ、プレプリントされた印字デザインを作ることができます。

2. 包装に印字する必要のある情報

包装の外側に印字する内容は、消費者に情報を伝え、規制に準拠していることを示すために重要です。しかし、包装上への印字を常にアップデートしながら正確に保つことは容易ではありません。印字内容や印字に使う技術を検討することで、最高の包装デザインに仕上げ、効率を最大限に向上させることができます。通常、包装に記載される情報はほぼ全部、製品の製造現場ではなく、包装の製造業者が印字します。その結果、生産体制の柔軟性の低下、余分な在庫管理コストの発生、ラベル貼付ミスなど包装上のエラーが生じるリスクがあります。

製品の切り替えが多い、多数のフレグランスや色の異なる製品がある、または季節に合わせてパッケージデザインを変更するお客様には、包装上のプレプリント情報を減らして、製造工程で使えてカスタマイズ可能な可変データ印字が可能なソリューションをご提案しています。

最先端の印字技術を使用することにより、多くのケースでプレプリントと同等の情報が製造ラインで印字できます。可変のインライン印字で、製品ロゴ、バーコード、テキスト情報などを生産工程で直接包装に印字できます。その結果、プレプリントされた包装の在庫数を減らし、さまざまな包装を数多く用意する煩雑さも軽減することができます。また、追加コストをほとんどかけずにボタン 1 つで製品を簡単にカスタマイズできるので、季節、販促、地域特有の情報に柔軟に対応することが可能です。

3. お客様と消費者による印字の活用方法

購入後に消費者が実際に読む印字によって、ブランドロイヤルティや商品の信頼性を高め、有益なマーケティングデータを得ることができます。しかし、実際にそのような交流の機会を設けることは簡単ではありません。可変印字は包装ごとに一意の印字が可能のため、商品の追跡や確認に使用する小売業者が増えてきています。この製品ごとの識別情報を携帯、オンラインアプリ、WEB サイトと組み合わせ、消費者とのやり取りに使用したり、販促用のゲーム、読み取り可能なバーコード、登録番号を活用して、ブランド情報の販促を行ったりすることができるようになります。たとえば、シャンプーや洗剤製品上に印字された製品ごとに変化する英数字情報などをオンライン入力することで、特定のブランドユーザーであるお客様がポイントをためることができるような仕組みも可能です。この種のプログラムは消費者の注意を引き、購買増加が見込めるだけでなく、消費者データも入手できます。



大切なこと

ビデオジェットは、包装デザインに美しくなじむ可変印字技術を使用し、プレプリントされた印字の必要を減らすためのお手伝いをいたします。当社の経験豊富な販売チームがお客様と連携し、さまざまな印字技術のメリットを検討し、包装デザインに役立つ印字サンプルを作成します。ビデオジェットにはさまざまな種類の印字技術と 640 種類を超える特殊配合のインクおよび溶剤や補給部品の用意がありますので、ほぼすべての包装に合う印字ソリューションを提供します。

ビデオジェットは、生産の目標と性能のニーズに対応する適切なソリューションの選定をお手伝いいたします。

TEL: 0120-984-602

URL: www.videojet.co.jp

E-mail: info.japan@videojet.com

ビデオジェット社

〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10

テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2017 Videojet Japan — All rights reserved.

ビデオジェット社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。DataLase は DataLase Ltd. の登録商標です。

 **VIDEOJET®**